



第44回例会

平成18年5月31日(水)
サンパレス福島

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 ロータリーソング「奉仕の理想」
- 3 四つのテスト
- 4 お客様の紹介と会長挨拶 野地利雄会長
- 5 食事・幹事報告
- 6 ゲストスピーチ
芳賀 裕 第2530地区新世代委員長
- 7 スピーチ御礼
- 8 各委員会報告
スマイリング委員会
ロータリー財団委員会
出席委員会
- 9 閉会点鐘



ました。
前期と今期の活動状況を見てみますと、中々思いは一方通行の時が多いように思われます。他のクラブも同じようで、色々、難問を抱えております。

時間が経つとお互いの意思が通じるもの、まだ私自身そして委員会に問題があるのと、二通りあるのではないかと思います。今後より一層の努力が望まれます。しかし、今、社会の流れが戦後教育の歪みによる問題の一因のように思われるような、子供たちが受難に合っております。若い人々にいろいろな世の中の仕組みを理解して頂き、他人に迷惑の掛からぬ、また、「一人は皆のため」「皆は一人のため」に思いやりを寄せ合って、もらいたいとも思います。

そのような中、芳賀先生におかれましては、地区のロータリークラブにおいて大変重要な委員会等を歴任なさっており、新世代インターアクトの方々へのこれからの指導方法、及び協同奉仕活動などを教わり、「絆」を強めていってほしいと願っております。次年度もぜひ、立派な奉仕活動を青少年と共に出来、地域に根付いたことを行って下さい。

今年度の反省の第一歩になるかと思いますが、新世代に対する思いは「近くにいる遠くのお姫様」のようでもありました。

反省し、今後の活動に役たてたいと思います。

地区新世代委員会活動について

第2530地区新世代委員会委員長
芳賀 裕様



各ロータリアンの債務

「各ロータリーは青少年の模範」はロータリーの伝統ある標語
地域社会で市民と事業に携わる人の指導者であるロータリアンは、将来を担う若い人々の模範とならなければならない。

会長挨拶

野地 利雄会長



皆さん、こんにちは。

5月も最終日となりました。本日はインターアクト協同奉仕事業月間となっております。地区より新世代委員会委員長にゲストスピーチをお願い致しました。私達のクラブも100周年記念活動として、成蹊高校にインターアクトクラブを創立致し

年齢30歳までの若い人を含む新世代の指導力を伸ばし、市民としての責任感を培うことは、ロータリーの青少年活動の変わらぬ主な目標

新世代のための四大RI構成プログラム

- ①インターアクト②ローターアクト③青少年指導養成④青少年交換

インターアクト・クラブ

ア. IACは、14歳から18歳までの青少年のための地域社会または学校が基盤 最初のIACが1962年メルボルン高校(米国フロリダ州)で設立されて以来、現在10,562クラブ、推進会員数約24万人(当地区 成蹊高校等13クラブ)

イ. IACは、提唱ロータリー・クラブの顧問ロータリアンにより指導監督されるが、自主自立の組織

ウ. IACは、2つ以上の奉仕プロジェクト(地域社会への奉仕、国際理解)を実施

エ. IACと提唱クラブ・各区との関わり方 8月 年次大会 10月 連絡協議会 2月 国際理解プログラム 5月 連絡協議会 6月 リーダー研修会

ローターアクト・クラブ

ア. RACは、18歳から30歳までの青年男女の奉仕クラブ 最初のノースシャーロットRACが1968年に設立以来、現在8,019クラブ、推定会員数約18万人(当地区内社会人クラブ4、学生クラブ2)

イ. ウ. は、IACと同じ

エ. RACと提唱クラブ・各区との関わり方 9月 ゾーン研修会 10月 年次大会 2月 全国研修会 4月 地区協議会 ※9~10月 うつくしまゴミO運動

ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)

ア. 14歳から30歳までの若い人々の指導力養成セミナー

イ. 参加者は、年齢に応じた専門知識と指導力の開発について研究集会に出席

ウ. セミナーはロータリアンが運営し、レクリエーションと文化活動も含む

エ. 当地区では、2007年4月開催予定

青少年交換プログラム

ア. 15歳から19歳の学生に海外でホスト・ファミリーと共に暮らし、他国の生活と文化を体験する機会を提供

イ. 交換学生は、通常1学年間で数か所以上のホスト・ファミリーのもとに滞在し、ホスト国の学校に通学

今月・来月のプログラム

- 6月11日(日) 第7回福島南RCゴルフコンペ(民報コース)
- 6月21日(水) 新旧委員会歓送迎会(午後6時~観山荘)
- 6月24日(土) あぶくま清流協議会定時総会(ホテル辰巳屋)
- 6月28日(水) 最終例会

